



平成22年度
「中小企業経営診断シンポジウム」を開催
445名がシンポジウムに参加！

当協会は平成22年11月17日(水)、東京都文京区の東京ガーデンパレスにおいて、平成22年度「中小企業経営診断シンポジウム」を開催しました。

今回のシンポジウムの統一テーマは、「今、成功する経営革新とは…～高度な提案力は中小企業診断士から～」で、当日は当協会会員、来賓、行政支援機関関係者、一般の方など445名の方々にご参加いただきました。

午前の第1部は、10時35分に開会し、新井信裕・当協会会長の開会挨拶に続いて、徳増有治・中小企業庁経営支援部長より来賓挨拶を頂戴した後、10時50分～12時までの70分間にわたって、㈱壺番屋創業者特別顧問である宗次徳二様による「後継者は、経営者の背中を見て育つ」と題した基調講演が行われました。



新井信裕・当協会会長



徳増有治・中小企業庁経営支援部長



宗次徳二・㈱壺番屋創業者特別顧問

午後の第2部では、13時より3つの会場に分かれて、以下の催しが開催されました。

- 第1分科会
「中小企業診断士による経営革新支援事例論文発表」
- 第2分科会
「診断協会各支部による調査・研究／地域政策提言」
- 第3分科会
「東京支部による研究会成果発表」

また、同時間帯には「無料経営相談会」も開催し、相談員を務めた東京支部会員が、2社からの資金調達などに関する相談に対応しました。

さらに、17時から「表彰式」が開催され、川井正夫・当協会副会長の開会挨拶後、水元明則・当協会専務理事が第1分科会の審査結果の発表を行い、次に大江宏・審査委員長からは第1分科会の発表論文に関する「審査委員長講評」が行われました。

その後、第1分科会・第2分科会の順で発表者に表彰状が授与され、続いて第3分科会の審査結果の発表と、発表者への表彰状の授与が、中村正士・東京支部長より行われました。

なお、第1分科会～第3分科会の各賞の受賞者は、以下のとおりです。

【第1分科会】

- 中小企業庁長官賞
生産管理手法を農業に応用し、農林水産大臣賞へと導いた経営革新支援事例
大石 幸紀（東京支部）
- 日刊工業新聞社賞
「中堅企業K社の支援提言策」
—中小企業支援に効果的な「マトリクス図表」

本部レポート

による企業診断の「見える化」手法の提言—

太田 恵太郎（大阪支部）

- 日本経営診断学会会長賞
大規模歯科医療法人の革新支援～教育プログラムの策定を通して～
赤司 征大（愛知県支部）
- 中小企業診断協会会長賞
ミュージアム業界の経営革新事例
佐藤 哲也（長野県支部）

【第2分科会】

- 中小企業診断協会会長賞（4編）
 - ・平成21年度「調査・研究事業」“激動の時代を生き抜くものづくり中小企業”の知恵 知的資産経営調査報告書
山崎 隆由（東京支部）
 - ・『中小企業の「ISO22000（食品安全マネジメントシステム）」入門』
増田 泰三（岡山県支部）
 - ・平成21年度静岡県支部調査・研究事業「浜名湖観光圏」における農商工連携による果樹園経営の一方策について
大庭 富男（静岡県支部）
 - ・ワーク・ライフ・バランス導入推進ガイドブック作成にかかる研究報告
高橋 美紀（東京支部）
- 東京支部長賞（2編）
 - ・中小企業の海外取引拡大のための支援について
～販路開拓からパートナーシップの構築まで～
伊藤 敦（東京支部城北支会）
 - ・「おとなの道草」キャンペーン
～途中下車客増加による商店街の活性化作戦～
木田 裕芳（東京支部城西支会）

【第3分科会】

- 東京支部長賞（1編）
総合小売チェーン店 [P店舗] 活性化の成功事例（街に息づく、お客様が楽しめるお店づくりの提案）
飯田 はるみ（中央支会ファッションビジネス・リデザイン支援マスターコース）



徳増・経営支援部長，大江・審査委員長，
新井・当協会会長，中村・東京支部長と受賞者

表彰式終了後には、17時30分より「懇親会」が開催され、論文発表者をはじめ当協会関係者、来場者らが歓談を行いました。